

県政 ホットニュース

県庁で行われている定例記者会見などから、**知事の発言や方針**を紹介して、**県政の新たな動き**をお伝えします。

ホームページ「**こちら知事室です**」に、定例記者会見の様子などを掲載しています。「**奈良県政フォトニュース**」(www.pref.nara.jp/43322.htm)で県のニュースを写真と記事でお伝えしています。ぜひご覧ください。※QRコードで奈良県政フォトニュースの記事も見られます。

リオオリンピックピックパラリンピックのメダリストに 奈良県民栄誉賞と奈良県スポーツ特別功労賞が授与されました。

9月9日、第31回リオデジャネイロオリンピックバドミントン女子ダブルスにおいて、金メダルを獲得した檀原市出身の高橋礼華選手あゆかの奈良県民栄誉賞と、ペアである松友美佐紀選手の奈良県スポーツ特別功労賞の表彰式が行われました。荒井正吾奈良県知事は「県民に大きな感動を与えていただいた。奈良県にとって大変栄誉に感じます」と祝辞を述べました。高橋選手は「自分が育った奈良県に金メダル獲得の報告ができることを嬉しく思います。負けたらすごいと、最後まで諦めませんでした」、松友選手は「素晴らしいパートナーと出会えました。さらに上を目指して頑張っていきたい」と話しました。



左から、川口県議会議長、松友選手、高橋選手、荒井知事、小泉県議会副議長



ロビーにてお出迎え



左から、川口県議会議長、大野選手、正木選手、荒井知事



穴井監督も交えた懇談のようす

9月20日、同じく柔道男子73kg級で金メダルを獲得した大野将平選手の奈良県民栄誉賞と、第15回リオデジャネイロパラリンピック柔道男子(視覚障害)100kg超級で銅メダルを獲得した正木健人選手の奈良県スポーツ特別功労賞の表彰式が行われました。



荒井知事は「天理大学で練習を積まれた両選手の活躍は県民の励みになる。県民の皆さんを代表してお礼申し上げます」と祝辞を述べました。大野選手は「今後も県民のみなさんへ感動を与えることができる柔道をしていきたい」、正木選手は「県内の障害者スポーツの振興にさらに貢献したい」と話しました。

問 県広報広聴課
問 県スポーツ振興課

☎0742-27-8325 FAX0742-22-6904
☎0742-27-9863 FAX0742-23-7105

奈良県地方創生シンポジウム開催

9月14日、奈良県の地方創生

に向けた取り組みについて理解を深めることを目的に、奈良県地方創生シンポジウムを、奈良春日野国際フォーラムで開催しました。

第1部の基調講演は、『奈良創生』のための経済・インフラ政策と題し、京都大学大学院教授の藤井聡さんが、奈良創生や日本全体の景気回復に必要なことなどについて講演されました。

第2部のパネルディスカッションは、奈良テレビ放送アナウンサーの伊藤将也さんの進行で、藤井教授、なら食と農の魅力創



パネルディスカッションのようす



能楽ホールで開催されたシンポジウム



造国際大学の平松博利校長、くらしと文化研究所主宰の音田昌子さん、荒井知事により、文化資源の活用、観光力向上のための食事・宿泊の場の整備、雇用の創出、就業を希望する女性のための環境整備などについて意見が交わされました。

問 県政策推進課 ☎0742-27-8306 FAX0742-22-8012

第3回地域フォーラム開催

9月18日、今年度の第3回地域

フォーラムを平群町中央公民館で開催しました。

当日は約300人の参加があり、テーマ「健康・医療・介護」について、済生会中和病院 今川敦史院長による基調講演「地域医療構想と地域包括ケアシステム 地域病院の役割と取り組み」に引き続き、荒井知事、大和郡山市、生駒市、平群町、斑鳩町、安堵町の各市市長・町長



大和郡山市長、生駒市長、平群町長、斑鳩町長、安堵町長が参加されました



基調講演のようす



がパネルディスカッションを行いました。基調講演では、今川院長より奈良県の医療需要の現状や多職種連携による地域包括ケアシステムなどについてお話いただきました。パネルディスカッションでは、健康づくりに取り組むことが地域のコミュニティ形成につながることや、子どもの頃に給食でおいしい野菜を食べる習慣をつけることの大切さなどの意見が交わされました。

問 県政策推進課 ☎0742-27-8472 FAX0742-22-8012